

こんな活動です

地域と県立高校の協働による魅力化 -持続可能な地域の形成を目指して-

| | | | | | | |
|--------------------|---|--------------------------|------------------------|----------------|--------------------------|--|
| 岡山県 | | ●活動名 学校と地域の協働による“閑谷學” | | | ●関係する学校名 岡山県立和気閑谷高等学校 | |
| 協働活動開始年度 | 平成 25 年度 | 学校運営協議会 | 指定・設置日 令和元年12月23日設置 | 地域学校協働本部 | 無 | |
| 活動区分 | — | 地域課題解決学習 | | 地域人材育成 | | |
| 統括的な地域学校協働活動推進員等の数 | 配置人数 | | 地域学校協働活動推進員等の数 | 配置人数 | | |
| | 2人 | | | 2人 | | |
| ボランティアの数 | 延べ登録人数 | 企業・NPO等との連携 | 有 | ICT機器活用 | 有 | |
| | — | | | | | |
| 参考URL | http://www.wakesizu.okayama-c.ed.jp/ | | | | | |
| ●連絡先 | 岡山県立和気閑谷高等学校 | | | ☎ 0869-93-1188 | | |



●活動の概要・経緯
 少子化による地域の衰退を防ぐためには教育の充実が重要課題という和気町の思いと、特色ある教育活動によって生徒の学力・意欲を伸ばし高校の魅力化を図りたいという高校の思いが一致し、平成25年度から町内唯一の高校の魅力化を図る取組を開始した。平成27年度から学校評議員制度を活用し、地域関係者・和気町職員・近隣中学校校長らによる「和気閑谷高校魅力化推進協議会」を設置し、学校と地域が一体となって地域の活性化を図るとともに地域の担い手となる人材育成に努めてきた。
 現在は、和気町及び近隣の備前市・赤磐市の行政・産業界、大学等を委員とする岡山県立高校で初めての学校運営協議会を設置(文部科学省事業「地域との協働による高等学校教育改革推進事業(地域魅力化型)」の指定を受けて設置したコンソーシアムを母体とした。)し、地域の多様な主体と協働する教育活動を進める体制を構築している。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- 和気閑谷高校は、和気町をはじめとする2市1町(和気町・備前市・赤磐市)の行政・産業界等と連携した教育活動に取り組んでいる。特に和気町からは町が派遣する支援職員が、地域課題解決型探究学習である「閑谷學」をコーディネートするほか、町教委は小中学校での放課後学習支援、出前授業、社会教育等の担い手として高校生を受け入れ、商工会はインターンシップ、商店会は生徒の企画実現に協力するなど、町ぐるみで生徒の学びを支援してきた。
- コミュニティ・スクールを構成している2市1町の行政や地域の企業、地域の小・中学校等が高校と協働して、放課後学習支援、イングリッシュキャンプ、各種ボランティア、長期インターンシップ等、子どもたちが学校での学びを実社会で体現する場を創出している。

【実施に当たっての工夫】

- 2市1町の首長、教育長、商工会長などの意思決定権を有するメンバーでコミュニティ・スクールを構成している。
- また、それを実務的に支える下部組織として、小中高接続部会、産学官連携部会、高大接続部会を設け、実務的なレベルで、様々な具体的な方策をまとめ、コミュニティ・スクールでの協議、承認を経て実施している。

【関係機関・団体等との連携状況】

○和気閑谷高校では、これまで和気町との間で行ってきた取組を、生徒の約8割が居住する2市1町での取組に拡充して、地域と学校が協働するカリキュラムを開発し、地域が考えるビジョンや人材について学校と地域が共有し、同じ方向性で教育活動の充実を図っている。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- 高校生が地域課題解決型探究学習を通して地域の活性化に取り組むことで、高校と地域が互恵的に協働していくことができるようになった。
- 地域の大人に、総合的な探究の時間や専門教科・科目の講師となる経験等を通じて、高校教育の一部を積極的に担っていかうとする機運が高まるとともに、地域の大人と触れ合った高校生の学習意欲や主体性の向上へもつながっている。
- 地域の高等学校の取組を行政、地元企業等が地域ぐるみでサポートし、小・中・高等学校で一貫した取組とするための体制が構築できた。特に、地域の小・中学生に対する放課後学習支援等は、高校生のキャリア形成に効果が高く、また、高校生のかわりが小・中学生のキャリア形成支援となっている。

●その他

- ・生徒一人1台ずつ配付しているiPadを活用し、閑谷學をはじめとする探究学習や各教科・科目の学習の充実を図っている。
- ・地域と協働する探究学習等で得た知見を課外活動で地域に還元したり、地域の企業やNPO等が学校行事に参加する取組を積極的に行っている。



和気町の次期総合計画から作成
 和気町の次期総合計画から作成



文化祭に地域の企業が参加
 文化祭に地域の企業が参加